

今年度第2弾の講演会は、私の母校での開催です！

「技術士を知ろう！ in 苫小牧高専」

1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)にて運営等を担当している「技術士を知ろう！」ですが、2024年度の活動第2弾は、2017年から講演を行っている苫小牧工業高等専門学校(苫高専)にて実施しました。今回も青年技術士交流委員会(青技交)の連携・協力を得て、実施しています。

苫高専での講演ですが、昨年同様、技術士第1次試験願書提出前の開催となりました。先生の話によると、この講演を聞いた直後が、最も学生たちの受験へのモチベーションが高く、受験動機に繋がるとのことでした。今回もそこを狙って開催の準備を進めてきたのですが、思わぬ敵が現れました。

2. 実施概要

開催日時：2024.6.21(金) 14:40～16:10

講義内容：技術士資格の説明

技術士の仕事内容と役割(講演2編)

土木全般の仕事紹介

対象者：創造工学科 都市・環境系

都市・環境コース 4年生 計40名

参加幹事：小澤、木本、千葉(記)(ミライ研3名)

巻口、塚田(青技交2名)。

苫高専での講演は、創造工学科の都市・環境系の渡辺先生(技術士)の力強いバックアップがあって実現させてもらっています。

今回の開催日は比較的早い段階に決定していたのですが、同日に別の外部講師による講演会が重なってしまい、遅い開始時間での開催を余儀なくされました。学生達にとっては、これまで経験したことが無いという朝から長時間に渡っての講演会となり、集中力が持続できるかが大きな課題となりました。

3. 技術士について

小澤代表より、技術士資格の説明として、技術士の役割、資格取得方法、持つことのメリット等を説明したほか、社会人になってから仕事をする上での資格取得の重要性等について説明を行いました。

冒頭、科学大で掴み損ねたキムタク技術士ネタを再度繰り出しましたが、誰一人して見ていた学生はおらず今回も撃沈でした。ですが本題の話を丁寧に説明したことで、学生達の注目度が上がりました。



写真-1 手を上げる小澤代表

4. 技術士の仕事内容と役割

(1) 農業土木の技術士の仕事(塚田技術士)

具体的な仕事内容の紹介として、まずは(株)ドーコンに勤務する塚田技術士から、「農業土木分野の仕事紹介と技術士一次試験に向けて」と題してプレゼン発表を行いました。

実は塚田技術士は苫高専OBであります。学生当時は通生、剣道部、卒研班は渡辺先生という話をしたとたん、俄然学生達がかいつきました。

学生達にはあまり馴染みの無い「農業土木」という分野ですが、先輩のプレゼンを聞いて、多くの学生たちが興味を持ってくれた他、学生時代の過ごし方エピソードはとても参考になったようです。



写真-2 身近な先輩、塚田技術士(青技交 幹事)

(2)河川分野の技術士の仕事(巻口技術士)

続いて、苫高専 OB で、(株)福田水文センターに勤務する巻口技術士から、河川分野のコンサルタントの仕事と題してプレゼン発表を行いました。

河川分野のコンサルタントとして、クライアントが困っている問題に対し、自身を川のお医者さんに例えて、どのような処方箋(解決策)を提案してきたかを、具体例を交えて説明してくれていました。

巻口技術士には、2019年から連続で講演を行ってもらっています。最初から完成度の高いプレゼン資料だったのですが、毎年少しずつ改良を重ねている姿勢は、後輩達にとっても良い見本になっていると思います。



写真-3 飽くなき向上心の巻口技術士(青技交 幹事)

5. 土木の仕事全般の紹介

講演最後は、(株)ドーコンに勤務する木本技術士から土木や建築の業界全般を対象に、2人の講演で紹介しきれなかった様々な仕事を写真で紹介。

先生からリクエスト頂いたコンサルタントにも様々な仕事があることを知ることで、自分の将来を

考える機会になればと考えて用意しました。

学生達からの感想には「仕事の種類が多くあることを講演を通じて知ることができ心の余裕ができました」等のコメントもあり、自分たちの「ミライ」を考えるきっかけにいただけたようです。



写真-4 皆のミライを語る木本技術士(ミライ研 幹事)

6. 質疑応答

筆者の進行で参加メンバーが学生からの質問に回答する質疑応答では「土木の技術は、農業の分野にも、様々な形で応用されているということがわかった」、「医者(に)医師免許が必要のようにコンサルにも技術士が必要になってくるというのはしっくりきた」、「自分の好きな分野を見つけることができそうと、可能性を感じることができました」といった、今後の就職活動や実際の仕事内容に関する質問も多く寄せられました。

7. まとめ

学生からの感想には「技術士のイメージが大きく変わった」、「今日の講演を聞いて早めにとっておきたいと思いました」等の技術士取得の動機(他、「これからの学校生活へのモチベーションに繋がる機会になった」等のコメントも頂けました。アンケートでは、37人中37人が「名前だけは知っていた」「以前から、名前も内容も知っていた」等だったのに対し、40人中39人が「将来技術士を取得したい」と回答してくれました。同アンケートでの今回講演の「わかりやすさ」「満足度」は5段階評価で4.7、4.8と学生に高評価であったことも一因だったのではと考えています。